



第19回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2022

先着80名
入場無料
事前予約必須

脱炭素社会における 畜産を考える



日時

2022年11月10日(木)
13:00▶▶▶17:00

場所

とかちプラザ2階 視聴覚室
〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1

WEB参加可能(後日希望者へ通知)

2015年に開催された国連気候変動枠条約第21回締約国会議において「パリ協定」が採択され、全ての締約国は脱炭素社会を目指して、温室効果ガスの排出量を大幅に減らすという目標を掲げた。

日本においても2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ、いわゆるカーボンニュートラルの実現を目指した取り組みを進めており、その影響は畜産業にも及んでいる。農林水産省によれば、2019年の日本の農林水産分野における温室効果ガス排出量は二酸化炭素(CO2)換算で約4747万トン。国内の全排出量の約4%を占める。このうち、家畜関連が約3割を占めており、畜産分野における温室効果ガス排出の低減技術の開発や畜産経営全体の排出状況を鑑みた効率的・効果的な排出削減システムの確立が急がれている。本シンポジウムでは、肉牛生産におけるカーボンニュートラルの取り組みについて研究者、生産者、消費者など多角的立場からご講演いただき、脱炭素社会の実現のために畜産分野ができることを考えていきたい。

基調講演

「脱炭素社会における資源循環型牛肉生産」

北海道大学名誉教授 (土壌学研究室:環境循環型・土壌生物・微生物)
波多野 隆介氏

話題提供1

「脱炭素循環牧場・地域を目指す」①

放牧酪農家 十勝清水町 出田牧場 出田 基子氏

話題提供2

「脱炭素循環牧場・地域を目指す」②
「再生可能エネルギーを活用したまちづくり」

鹿追町 環境保全センター担当課長 城石 賢一氏

話題提供3

「農地を守るう!カバークロッププロジェクト」

東都生協商品部 部長補佐 吉澤 正義氏

第12回北海道肉専用種枝肉共励会 褒賞授与式

司会:北海道酪農畜産協会 参事 山本 裕介氏
総評:帯広畜産大学 教授 口田 圭吾氏

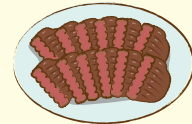
パネルディスカッション

パネラー: 講演者、消費者代表

※各講演者の講演内容はタイトルの内容となりますが、講演タイトルは(仮)となります。

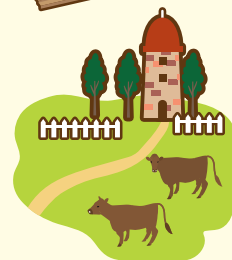
eびーふ食味試験
意見交換会 (希望者のみ)

日時 11月10日(木) 18:00~
場所 ランチョ・エルパン
参加 参加費 4,000円



現地検討会

日時 11月11日(金) 8:30~
場所 清水町 出田牧場
日時 11月11日(金) 10:30~
場所 鹿追町環境保全センター(鹿追町)



共催: 環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後援: 帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

新型コロナ対策

- ◎入場制限/会場収容人数の50%以下先着80名(事前予約)
- ◎入口での対応/名簿記載確認・消毒・検温ほか

シンポジウム
申込み・問合せ先

TEL:0156-64-0624 FAX:0156-64-3212

e-mail: kunishige-kyouko@hro.or.jp (地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛グループ 担当: 國重 享子

環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するe-ビーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶
- 13:05～14:20 基調講演 「脱炭素社会における資源循環型牛肉生産」
北海道大学名誉教授(土壌学研究室:環境循環型・土壌生物・微生物) 波多野 隆介 氏
- 14:30～14:55 話題提供1「脱炭素循環牧場・地域を目指す」①
放牧酪農家 十勝清水町 出田牧場 出田 基子 氏
- 14:55～15:20 話題提供2「脱炭素循環牧場・地域を目指す」②
「再生可能エネルギーを活用したまちづくり」
鹿追町 環境保全センター担当課長 城石 賢一 氏
- 15:20～15:45 話題提供3「農地を守ろう!カバークローププロジェクト」(仮)
東都生協商品部 部長補佐 吉澤 正義 氏
- 15:45～16:05 第12回北海道肉専用種枝肉共励会 褒賞授与式
司会：北海道酪農畜産協会 参事 山本 裕介 氏
総評：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏
- 16:15～17:00 パネルディスカッション
パネラー：講演者、消費者代表
- 17:00～ 閉会挨拶

eビーふ食味試験・意見交換会(希望者のみ)

日時 11月10日(木) 18:00
場所 ランチョ・エルパソ 参加 参加費4,000円

現地検討会

日時 11月11日(金) 8:30 日時 11月11日(金) 10:30
場所 清水町 出田牧場 場所 鹿追町環境保全センター(鹿追町)

参加申込書

締切期限
11月2日(水)

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道立総研機構畜産試験場肉牛グループ 担当：國重 享子

FAX送付先 **0156-64-3212** E-MAIL: kunishige-kyouko@hro.or.jp



氏名	連絡先(TEL)	シンポジウム	WEB	意見交換会	現地討論